

2024年11月8日

休眠預金等活用制度※1 山形県初の資金分配団体に採択
「山形の暮らしとなりわいスケダチプロジェクト」助成団体公募説明会と
JANPIA 休眠預金活用制度説明会のお知らせ

一般社団法人ユヌス・ジャパン

一般社団法人 Sokedachi Creative 庄内

【山形県初の資金分配団体に採択】

このたび一般社団法人ユヌス・ジャパン（代表理事：岡田昌治/所在地：福岡県福岡市）と一般社団法人 Sokedachi Creative 庄内（代表理事：栞原良樹/所在地：山形県鶴岡市）はコンソーシアム申請により、休眠預金等活用法に基づく資金分配団体の公募〈通常枠〉において、指定活用団体※2である一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）より山形県内初の資金分配団体※3に採択されました。

<https://kyuminyokin.info/articles/1421#outline19>

本制度は2019年度よりスタートし今年度で6年目。これまで助成予定総額320億円（累計）、全国で206の資金分配団体、1308の実行団体t※4が誕生（JANPIA「数字で見る休眠預金等活用事業」）し、本制度を活用した社会課題解決や民間公益活動の促進に取り組んできました。山形県はこれまで資金分配団体がゼロ、実行団体が3団体という全国的にも極めて少ない状況でした。

今回の事業では、都市とは異なる多様な働き方、起業や副業、生業（なりわい）づくりを開発・提案・実践する団体を公募・選定し、0～6次産業の多様な働き先のメニューや定住・移住体験プログラムの開発などを支援。山形らしい多様な暮らしと働き方の創出と定着をめざします。プログラム・オフィサーには鶴岡ナリワイプロジェクト（代表：井東敬子/所在地：山形県鶴岡市）代表の井東敬子さんを予定しています。また、事業を通じて、実行団体はじめ他の団体（NPO、地域おこし協力隊OB、経済団体、教育機関、行政等）との相互の学びと連携の場づくり、新たな協力・連携先の拡大をめざします。

【公募説明会・休眠預金活用事業説明会を同時開催】

実行団体となる助成団体を募集する公募説明会を、12月8日（日）午後2時～（三川町・なの花ホール）、12月9日（月）午後7時～（山形市・山形テルサ）で開催します。Zoomによるオンライン参加も可能です。また、今後の山形県からの休眠預金活用事業への申請を増やすためにJANPIAによる休眠預金活用事業説明会も同時開催し、県内外の事例等もご紹介する予定です。

【事業概要】

1) 事業名：

山形の暮らしとなりわいスケッチプロジェクト

－生きがいと生業（なりわい）が共存する多様な働き方と暮らし方を、地方から生み出す－

2) 事業内容：

都市とは異なる多様な働き方、起業や副業、生業（なりわい）づくりを開発・提案・実践する団体を公募・選定し、0～6次産業の多様な働き先・働き方のメニューや定住・移住体験プログラムの開発などを支援。山形らしい多様な働き方の創出と定着をめざす。

3) 事業総額：1億3687万800円/3年

4) 助成期間：2025年4月（予定）から2028年2月まで（3年）

5) 公募期間：2024年12月9日（火）～2025年2月28日（金）予定

6) 採択予定団体数：4～5団体程度

7) 1団体あたりの助成金額（上限および目安）：2,000万円上限/3年（評価関連経費を除く）

8) 公募説明会

12月8日（日）午後2時～（三川町・なの花ホール多目的ホール）

12月9日（月）午後7時～（山形市・山形テルサ研修室B）

Zoomによる配信も予定しています。

※ユヌス・ジャパン、Sukedachicreative 庄内のホームページの公募説明会ページのから、もしくはQRコードから参加お申込みください。



【主催/本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人ユヌス・ジャパン/一般社団法人 Sukedachi Creative 庄内

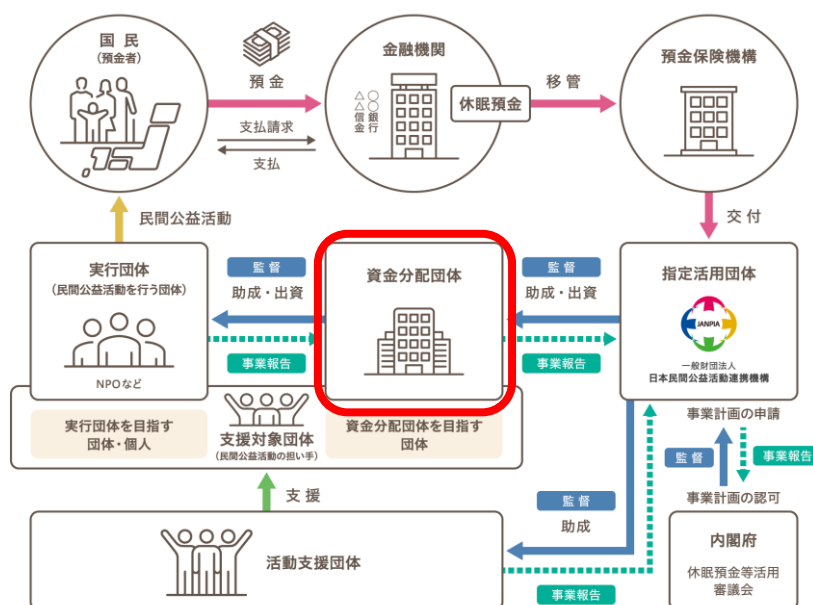
TEL：050-3740-4729 メール：yns@yunusjapan.jp

担当・お問い合わせ：ユヌス・ジャパン事務局 和嶋（わじま）

【添付資料・説明】

※1 休眠預金等活用制度とは、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（休眠預金活用法（平成28年法律第101号）」に基づき、金融機関の口座で10年以上出し入れが確認できない休眠預金を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活動する制度。2019年度から制度スタート。

参考：休眠預金等の活用の流れ



出典) 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) WEB サイトより引用

※2 指定活用団体とは、休眠預金等の資金の分配・管理等を行い、民間公益活動の促進を図るための団体。内閣府の公募によって2019年11月に一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) が指定されている。

※3 資金分配団体とは、休眠預金等の資金を実行団体へ助成し、あわせて伴走支援を行うことで、助成の社会的な効果を高めるための団体

※4 実行団体とは、休眠預金等の資金によって民間公益活動を実行する団体。

幹事団体◆一般社団法人ユヌス・ジャパン 代表理事：岡田昌治

グラミン銀行創設者で2006年ノーベル平和賞受賞者であるムハマド・ユヌス博士が提唱するビジネスを通して社会問題を解決するソーシャルビジネスの国内における活動拠点として設立。個人や団体のソーシャルビジネスによる起業支援やインキュベーション等を通して、ソーシャルビジネスの普及に取り組んでいる。

構成団体◆一般社団法人 SokedachiCreative 庄内 代表理事：栞原良樹

山形県庄内地方を中心に活動する、地域活動を支援する中間支援組織。大学教員、会社経営者、行政職員、地域おこし協力隊 OB など多様な背景を持つメンバーが在籍し、県内の地域おこし協力隊向け研修会や地域づくりワークショップなど、地域づくり活動の支援を行っている。

プログラム・オフィサー◆鶴岡ナリワイプロジェクト 代表：井東敬子

好きなことで身近な困りごとを解決する小さなビジネスを”ナリワイ起業”と呼び、ナリワイづくりを通して、自分が暮らすまちを自分たちで変えていこう、自分から動く人を増やすプロジェクト。代表の井東氏は 2022 年山形県男女共同参画社会づくり功労賞受賞。2024 年男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰。

以上